



原因となる細菌も増えてくる
起すことがあります。

このような原因で起こる
のが「妊娠性歯肉炎」で、
歯肉が腫れたり、出血が見

られたりという症状を引き
起こすことがあります。

出産後はホルモンバランス
も安定し、口の清掃状態
も改善することで症状も落

性があるともいわれています。
歯周病を予防するのは
もちろん、その前段階であ
る歯肉炎を予防することが
大切です。

状態の「歯石」になるとブ
ラッシングだけでは除去で
きず、歯科医院での専門的
な処置が必要になります。
妊娠でおなかが大きくな
ると、診療台に長時間横に
なるのも難しくなってきました。
歯科医院での処置をで
きる限り最小限にするため
にも、日ごろから正しいブラ
ッシングを行い、かかりつけ
の歯科医院で定期検診を受
けることをお勧めします。

気になる妊娠中の歯肉炎

出産後は症状落ち着く

【問】妊娠5カ月です。
最近、歯肉が腫れて出血す
るので気になっていきます。
知人には出産後は落ち着く
と言われましたが、自然に
治るのでしょうか。

(長崎市、27歳女性)

【答】妊娠中はつわり

で歯磨きがしにくかったり、
食事が不規則になったりし
ます。また女性ホルモンが
増えることで、歯肉の抵抗
性が変化し、歯周病の

回答者

山本 英理子

長崎市中川町
クリニック院長



ち着いてくることが多いで
す。しかし、清掃状態が悪
いと、一部が歯周病へ進行
する場合もあります。

歯周病がある妊婦は、そ
うでない妊婦に比べて早産
や低体重児を出産する危険
性が約7倍も高くなる可能

性があるともいわれています。
歯周病を予防するのは
もちろん、その前段階であ
る歯肉炎を予防することが
大切です。

歯周病を予防するには、

口の中の細菌と食べかすと
唾液の混ざったもの、いわ
ゆる細菌のすみかであるプ
ラークを除去することが大
切です。プラークは正しい
ブラッシングで除去できま
すが、プラークが固まった

状態の「歯石」になるとブ
ラッシングだけでは除去で
きず、歯科医院での専門的
な処置が必要になります。
妊娠でおなかが大きくな
ると、診療台に長時間横に
なるのも難しくなってきました。
歯科医院での処置をで
きる限り最小限にするため
にも、日ごろから正しいブラ
ッシングを行い、かかりつけ
の歯科医院で定期検診を受
けることをお勧めします。

それから妊娠中または妊
娠の可能性がある方は、受
診の際に必ず歯科医師に伝
えますよう。そうすること
でより安心して治療を受け
ることが出来ます。

質問をどうぞ

歯と口の健康に関する質問を受け付け
ます。県歯科医師会の先生方が回答し
ます(直接本人に回答はしません)。症状などを分かり
やすくまとめ、住所、氏名、年齢、職業、電話番号を明
記し、〒852-8601、長崎市茂里町3の1、長崎新聞社
生活文化部「お口の相談室」係に送ってください。県歯
科医師会のホームページは「8020ながさき」で検索でき
ますので参考にしてください。